

今日からバードウォッチング入門

木下順次（千葉市）

日 時：2016 年 1 月 10 日(日)10 時～12 時 天候： 晴
 参 加 者：大人 34 名 子ども 2 名 指導員 13 名（担当含む）
 担 当 指 導 員：坂本文雄・木下順次

野鳥観察に適した時間帯は早朝と言われます。本当にそうなのか調べた人もいます※。確かに経験的にも午後より午前の方が出現回数や個体数が多く感じます。昭和の森自然観察会は、しかし、これまで午後 1 時開始となっていました。ということで今回、お初ではないかと思うのですが、午前中に実施する運びとなりました。また、ビギナーの参加も多い観察会ということから、まずは身近にみられる野鳥をしっかり観察してもらい、その楽しさを知ってもらうことを一番の目標に観察会を行うことにしました。

※「はじめよう！バードウォッチング」（秋山・神戸 2014）文一総合出版

第 2 駐車場を出てすぐ林間の小道を降り、ハナショウブ園脇の春の道を進み下夕田池に出て、四季の道を登りかえして夏の道をめぐり、元に戻るというコース上(実際は 2 班に分かれて逆コースもあり)には、杉林、谷津とその斜面林、池、開けた芝地とさまざまなタイプの環境が広がり、出てくる野鳥もその都度変化していきます。カラ類の混群、斜面林で鳴き声だけですぐにわかるウグイスやアオジなど街中でも注意をしていれば見つけることのできる基本の鳥を解説します。鳴き声、シルエット、飛翔形、好む環境などが分かりだすと、実は身の回りにさまざまな野鳥が生活していることに気付きますよ、と。



下夕田池にはいつものマガモ、カルガモに加え、オカヨシガモの群れが来ていました。さらに、毎年何かしら初見のある昭和の森観察会ですが、今年のそれはミコアイサの早でした。昭和の森では珍しい鳥であることを伝え、スコープでじっくりと観察しました。

キジバトやムクドリなどが今回は見られず、参加者に紹介できなかったのが残念でしたが、この観察会に参加したことをきっかけに身近な野鳥観察を始める人が出てくれたらいいと思います。最後に、日本野鳥の会の「や・さ・し・い・き・も・ち」をご存知の方も多いと思いますが、当日ご紹介された坂本さん作の「や・さ・し・い・き・も・ち」を再掲します。野鳥観察の初心を思い出しますね！

《今回見られた野鳥》

カモ科（オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、ミコアイサ）、ウ科（カワウ）、サギ科（アオサギ）、クイナ科（オオバン）、キツツキ科（コゲラ）、カラス科（ハシブトガラス）、シジュウカラ科（ヤマガラ、シジュウカラ）、ヒヨドリ科（ヒヨドリ）、ウグイス科（ウグイス）、エナガ科（エナガ）、メジロ科（メジロ）、ヒタキ科（ツグミ、ルリビタキ）、セキレイ科（キセキレイ、ハクセキレイ）、ホオジロ科（アオジ）

以上、14 科 20 種、番外（飼育）オオハクチョウ、アヒル

尚、広報誌に誤掲載された受付時間に来られた方が数名あり、午後も追加で案内しました。

や	野鳥の観察
さ	最初の一步はスズメから
し	自然とのふれあい
い	いつでもどこでもお手軽に
き	今日から これから
も	もっと知りたい野鳥の世界
ち	地球の仲間だ、出会いが楽しみ